

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	ス ポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習				
科 目 名	アスレティックリハビリテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)				
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	ATルーム				
担 当 教 員	海東 翼	実務経験とその関連資格	AT, 鍼灸師としてスポーツ整形で働きながら、高校ラグビー部やアメフトなどのチームに帯同経験有、現在は大学ATルームに勤務し活動中							
《授業科目における学習内容》										
⑤各疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際を学び、対象者に正しい指導が出来るようになる⑥競技種目特性に応じた指導を理解し有効な指導が出来る様になる										
《成績評価の方法と基準》										
1:定期試験:70% 2:平常点:10% 3:出席点:20%										
《使用教材(教科書)及び参考図書》										
AT教本⑦「アスレティックリハビリテーション」										
《授業外における学習方法》										
あらかじめ指定された範囲のテキストに目を通し、予習をする。また授業後に振り返るために各疾患別のアスレティックリハビリテーションを測定評価と結びつけながらまとめる										
《履修に当たっての留意点》										
本格的な人体施述に入っていきます。筋骨格系へのアプローチを中心に授業は展開していきます。すでに学んだ知識を復習するとともに、正確にその場に鍼を打つ、灸ををする技術を身につけましょう。人の身体に鍼を刺す、灸をする本当の意味を考え、真面目に授業に取り組んでください。特殊鍼法(鍼通電・灸頭鍼・皮内鍼・円皮鍼)を用いてできる治療方法について学びます。										
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容					
第1回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	イントロダクション(後期の内容について理解できるようになる) 前期の復習			ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる				
第2回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	イントロダクション(後期の内容について理解できるようになる) 前期の復習			ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる				
第3回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	体幹について学び、理解出来るようになる (基礎)頸椎に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)			ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる				
第4回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	体幹について学び、理解出来るようになる (基礎)頸椎に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)			ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる				
第5回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	体幹について学び、理解出来るようになる② (基礎)腰椎に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)			ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	体幹について学び、理解出来るようになる② (基礎)腰椎に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	体幹について学び、理解出来るようになる③ (応用)脊柱に生じる外相・障害に対してのメニューの立案と指導	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	体幹について学び、理解出来るようになる③ (応用)脊柱に生じる外相・障害に対してのメニューの立案と指導	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	上肢について学び理解出来るようになる (基礎)肩関節に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	上肢について学び理解出来るようになる (基礎)肩関節に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	上肢について学び理解出来るようになる② (応用)肩関節疾患に対するメニューの立案と指導	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	上肢について学び理解出来るようになる② (応用)肩関節疾患に対するメニューの立案と指導	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	上肢について学び理解出来るようになる③ (基礎)肘関節・手関節に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	上肢について学び理解出来るようになる③ (基礎)肘関節・手関節に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	上肢について学び理解出来るようになる④ (応用)肘関節・手関節に生じる外相・障害に対してのメニューの立案と指導	ATテキスト⑦配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習				
科 目 名	アスレティックリハビリテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)				
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	ATルーム				
担 当 教 員	海東 翼	実務経験とその関連資格	AT, 鍼灸師としてスポーツ整形で働きながら、高校ラグビー部やアメフトなどのチームに帶同経験有、現在は大学ATルームに勤務し活動中							
《授業科目における学習内容》										
⑤各疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際を学び、対象者に正しい指導が出来るようになる⑥競技種目特性に応じた指導を理解し有効な指導が出来る様になる										
《成績評価の方法と基準》 1:定期試験:70% 2:平常点:10% 3:出席点:20%										
《使用教材(教科書)及び参考図書》 AT教本⑦「アスレティックリハビリテーション」										
《授業外における学習方法》 あらかじめ指定された範囲のテキストに目を通し、予習をする。また授業後に振り返るために各疾患別のアスレティックリハビリテーションを測定評価と結びつけながらまとめる										
《履修に当たっての留意点》 あらかじめ指定された範囲のテキストに目を通し、予習をする。また授業後に振り返るために各疾患別のアスレティックリハビリテーションを測定評価と結びつけながらまとめる										
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容					
第16回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	上肢について学び理解出来るようになる④ (応用)肘関節・手関節に生じる外相・障害に対してのメニューの立案と指導		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる					
第17回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	競技種目特性について学び理解出来るようになる 競技種目にもとづいたプログラミングについて学ぶ		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる					
第18回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	競技種目特性について学び理解出来るようになる 競技種目にもとづいたプログラミングについて学ぶ		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる					
第19回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	競技種目特性について学び理解出来るようになる② ノンコンタクトスポーツについて学ぶ		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる					
第20回 演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	競技種目特性について学び理解出来るようになる② ノンコンタクトスポーツについて学ぶ		ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標 競技特性について学び、理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	コリジョンスポーツについて学ぶ		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標 競技特性について学び、理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	コリジョンスポーツについて学ぶ		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標 競技種目特性について学び、理解出来るようになる④	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	コンタクトスポーツについて学ぶ		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標 競技種目特性について学び、理解出来るようになる④	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	コンタクトスポーツについて学ぶ		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標 競技種目特性について学び、理解出来るようになる⑤	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	競技種目特性のまとめ		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標 競技種目特性について学び、理解出来るようになる⑤	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	競技種目特性のまとめ		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標 後期に学んだ事を振り返り、理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	後期授業範囲で取り扱った内容に対するまとめ		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標 後期に学んだ事を振り返り、理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	後期授業範囲で取り扱った内容に対するまとめ		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標 後期まとめ	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	後期授業範囲で取り扱った内容に対するまとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標 後期まとめ	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	後期授業範囲で取り扱った内容に対するまとめ		